

YOKOHAMA-SXIP 2024 年 8-9 月招聘イベント

期間：8月27日（火）－9月6日（金）

来日学生：インド16名と豪州5名の合計21名

パンジャブ大学7名、IIT カンプール校（IITK）3名、アンナ大学3名、VIT3名

ニューカッスル大学（UON）3名、グリフィス大学2名

来日教員：インドの3大学（パンジャブ大、アンナ大、IITK）から1名ずつ、合計3名

総論

- 大型台風10号に伴う大雨等の悪影響が心配されたものの、9月3日に予定のインダストリアルツアーが半日に短縮された事を除けば、予定していたイベントの全てを概ね実施する事ができた。
- 学生に対するSX学修取組については、まず、8-9月招聘イベント前に「①概論講義のビデオ(JV-Campus)受講」、「②受入学生と本学派遣学生で組成したグループによるオンライン議論」を実施した後、招聘イベント期間において「③外部講師による講義(3回)の受講とそれに付随した討論」を実施の3段階構成として学修の機会を提供した。なお、本学派遣学生にあつては、パートナー校の学生と交流する前に語学力の補強を目的に本学国際戦略推進機構のネイティブ専任教員が英語力強化の教材を作成し、事前に学習させる新たな取組を行った。
- 学生が取り組むべきグループ協働学修課題として、東レ株式会社より「気候変動と水問題」、野村證券株式会社より「気候変動とファイナンス」、本学より「気候変動とエネルギー問題」が出題され、これを各グループに割振って取り組ませた。
- 9月5日に日印豪の学生によるグループ協働学修の成果発表を行った。最優秀プレゼン賞の発表が行われ、会場は高揚感に包まれた。最後は関係者による記念撮影が行われるなど、別れを惜しみつつ無事に招聘イベントが終了した。

各論（日々の活動）

8月27日（火）

印豪から学生21名及びインドからの教員2名が来日。学生は本学峰沢国際交流会館に入館。

8月28日（水）

オリエンテーション、JASSO 奨学金受領を経て、第1回概論講義とそれに続くグループ討議を実施。

- JAMSTEC（国立研究開発法人海洋研究開発機構）の土井威志博士による「気候変動の現状と将来予測」

夕方からは横浜駅周辺の交通機関利用案内や生活用品の購入場所を案内する学生自主企画「ヨコハマツアー」を実施した。IITKの教員1名が来日し合流。



第1回概論講義



グループ討議

8月29日(木)

アンナ大学とパンジャブ大学の学生・教員は、本学学生・教員と共にNOK株式会社(藤沢市)と日本発条株式会社(横浜市)を、IITK、VIT、UON、グリフィス大学の学生・教員は、本学学生・教員と共に、富士通株式会社(川崎市)とJFEエンジニアリング株式会社を(横浜市)を、各々訪問し施設見学を行った。



NOK株式会社



日本発条株式会社



富士通株式会社



JFEエンジニアリング株式会社

8月30日(金)

午前中は第2回概論講義とそれに続くグループ討議を実施。

- 信州大学 浦島邦子特任教授による「持続可能な未来に向けたエネルギーと水のより効率的な利用と先進技術」

午後はSXIP特別国際シンポジウムを開催。同シンポジウムは、パートナー校であるアンナ大学からの提案で実現した共同開催事業である。在京インド大使館に後援いただき、当日は、同大使館の科学技術担当参事官にご参加頂いた。本プログラムは地球規模の課題に取り組むための持続可能で回復力のあるソリューションの開発における人工知能(AI)の重要な役割を探ることを目的としたもので、生成AI、気候変動対策と適応のためのAI、スマートセンシングシステムのためのAI、ロボティクス・メカトロニクスのためのAI、循環経済の促進に向けたAI、スマートで持続可能な都市の実現、持続可能な農業と食料安全保障、等の講演をパートナー大学及び本学の教員が行った。



第2回概論講義



AI シンポジウム

8月31日(土)

学生自主企画による「カルチュラルツアー」を実施。

- 三溪園、横浜みなと博物館、三菱みらい技術館等を訪問。



三溪園



横浜みなと博物館

9月1日(日)

フリー

9月2日(月)

午前中は第3回概論講義とそれに続くグループ討議を実施。

- IGES (公益財団法人地球環境戦略研究機関) の Abdesslem Rabhi 博士による「持続可能な開発と気候変動」

午後は日本文化に関する講義と本学内のラボツアーを実施。



第3回概論講義



日本文化講義



ラボツアー



ラボツアー (大型水槽)

9月3日(火)

印豪のパートナー大学の学生全員と来日したインドの教員が、クアーズテック合同会社(秦野市)を訪問し施設見学を行った。台風の大雨の影響があり、午後に予定していた箱根・小田原訪問は中止となった。



クアーズテック合同会社

9月4日(水)

午前中、学生はグループ協働学修の成果発表の為にプレゼン資料最終仕上げを行った。

午後はシンポジウム1日目(ゲストスピーカーによるSX=Sustainability Transformationに関する講演)と学生による自らの研究内容を纏めたポスター発表を実施。

夕方にはシンポジウム並びにポスター発表に参加した学生と教職員によるコロキウムを実施し、シンポジウムやポスターの内容について質疑応答や感想や意見交換を行った。



ゲストスピーカー講演



ポスターセッション

9月5日(木)

午前中はシンポジウム2日目(パートナー大学・本学の教員、並びにゲストスピーカーによるSXに関する講演)が行われた。

午後は日豪印の学生によるグループ協働学修の成果発表が行われ、課題提供者による講評後に最も評価が高かったグループに対し、最優秀プレゼン賞を授与した。最後に参加者に対して「参加証」が授与された。



成果発表(最優秀グループ)



シンポジウム修了式

9月6日(金)

印豪の学生・教員は各々帰途についた。

以上